

Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX A10

クールピクス A10
活用ガイド



Jp

はじめに

各部の名称

撮影の準備をしよう

カメラを使ってみよう

いろいろな撮影

メニューを使う

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

詳細編

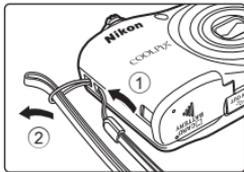
付録、索引

はじめに

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX A10をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(□vi~xiii)をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

ストラップの取り付け方



本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影の準備をしよう」(□6) および「カメラを使ってみよう」(□13) をご覧ください。
また、カメラ各部の名称や液晶モニターの表示については、「各部の名称」(□1) をご覧ください。

●本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連情報が記載されているページです。  は「詳細編」、  は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、ACアダプター、ケーブルなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- ・他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- ・説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の的外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com>

- ・ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。
- ・印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます（有料）。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は以下のようになっています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例

	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告 (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと



すぐに修理依頼を

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない
感電や発火などの事故や故障の原因になります。



電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと



すぐに修理依頼を

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。
電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



発光禁止

車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと
事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない
視力障害の原因になります。
撮影時には、1 m以上離れてください。
特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



保管注意

ストラップが首に巻きつかないようにする
特に幼児・児童の首にストラップをかけない
首に巻き付くと窒息の原因になります。



警告

指定の電源(電池、ACアダプター)を使う
指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。



禁止

通電中のカメラに長時間直接触れない
使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になる
ことがあります。



使用禁止

ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



注意 (カメラについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



保管注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。



保管注意

使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあ
たらない所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。



使用注意

航空機内での使用については、航空会社の指示に従う
病院内での使用については、病院の指示に従う



電池を取る

長期間使用しないときは電源(電池やACアダプター)を外すこと
電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になること
があります。



プラグを抜く

ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その
後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因にな
ることがあります。



使用注意

レンズの可動部には触れない
ケガの原因になります。



発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させない
こと
やけどや発火の原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に
温度が高くなる場所に放置しない
故障や火災の原因になることがあります。

⚠ 危険 (アルカリ電池、リチウム電池について)



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、
医師の治療を受けること
そのままにしておく、目に傷害を与える原因となります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管
したりしない
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール
袋などに入れて絶縁してください。

 **警告** (アルカリ電池、リチウム電池について)



警告

外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池に表示された警告、注意を守ること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



警告

電池の「+」と「-」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

充電機以外は充電しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池を廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まい
の自治体の規則にしたがって廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな
水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。



警告 (アルカリ電池について)



警告

使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険 (ニッケル水素充電機について)



使用禁止

リチャージャブルバッテリー EN-MH2 は、COOLPIX用Ni-MH 電池
を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電機でCOOLPIX
A10に対応しています
EN-MH2 に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

専用のチャージャーを使用して2本セットで同時に充電すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池の「+」と「-」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。



禁止

新しい電池と使用した電池、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておく、目に傷害を与える原因となります。



警告 (ニッケル水素充電電池について)



警告

外装チューブを外したり、傷をつけないこと
また、外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池に表示された警告、注意を守ること
液もれ、破裂、発火の原因となります。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておく、皮膚がかぶれたりする原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコン サービス機関またはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。



警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



注意 (ニッケル水素充電池について)



注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

目次

はじめに	ii	いろいろな撮影	21
はじめにお読みください	ii	撮影モードを変える	21
ストラップの取り付け方	ii	動画を撮影、再生する	23
本書について	ii		
ご確認ください	iv		
安全上のご注意	vi		
		メニューを使う	25
各部の名称	1	テレビ、パソコン、プリンターとの	
カメラ本体	1	接続	27
液晶モニターの表示内容	3	カメラとの接続方法	27
撮影モード	3	パソコンに画像を取り込む	
再生モード	5	(ViewNX-i)	29
		ViewNX-i をインストールする	29
		パソコンに画像を取り込む	30
撮影の準備をしよう	6		
電池と SD カードを入れる	6		
使用できる電池について	7		
電池や SD カードを取り出すときは... ..	8		
内蔵メモリーと SD カードについて... ..	8		
電源を ON にして、表示言語と日時を			
設定する	9		
カメラを使ってみよう	13		
おまかせシーンモードで撮影する	13		
ズームを使う	15		
シャッターボタンの半押しと全押し	15		
画像を再生する	17		
画像を削除する	18		
フラッシュやセルフタイマーなどを使う	20		

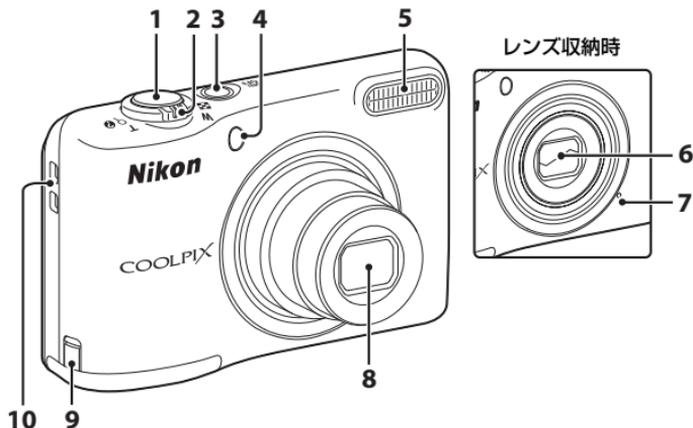
詳細編	001
画 (おまかせシーン) モード	003
シーンモード (シーンに合わせて撮影する)	004
ヒントとご注意	005
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する)	007
ベストフェイスモード (笑顔を撮影する)	008
カメラ (オート撮影) モード	010
マルチセレクターで設定できる機能	011
フラッシュを使う	011
セルフタイマーを使う	014
マクロ (接写) モードを使う	015
明るさを調整する (露出補正)	016
初期設定一覧	017
組み合わせて使えない機能	019
ピント合わせについて	020
顔認識撮影について	020
美肌機能について	021
オートフォーカスが苦手な被写体	021
フォーカスロック撮影	022
拡大表示	023
サムネイル表示 / カレンダー表示	024

画像の編集 (静止画)	025
画像編集の前に	025
クイックエフェクト (色合いや雰囲気を変える)	026
D-ライティング (画像の暗い部分を明るく補正する)	027
美肌 (肌をなめらかにする)	028
スモールピクチャー (画像サイズを小さくする)	029
トリミング (画像の一部を切り抜く)	030
テレビとの接続 (テレビ画面での再生)	031
プリンターとの接続 (ダイレクトプリント)	032
カメラとプリンターを接続する	032
1コマずつプリントする	033
複数の画像をプリントする	035
動画を撮影する	037
動画を再生する	039
撮影メニューの種類	041

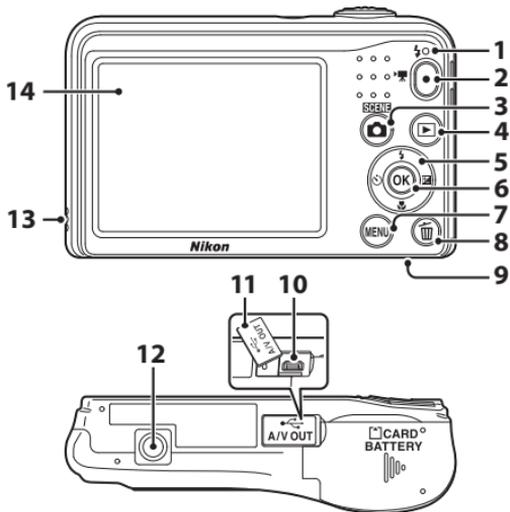
撮影メニュー	警告メッセージ	0068
( (オート撮影) モード)	記録データのファイル名	0071
画像モード	別売アクセサリ	0072
(画像サイズ / 画質)		
ホワイトバランス		
(色合いの調整)		
連写		
ISO 感度設定		
ベストフェイスメニュー		
美肌効果		
笑顔自動シャッター		
目つぶり軽減		
再生メニュー		
スライドショー		
プロテクト設定		
画像回転		
画像コピー (内蔵メモリーと SD カード間のコピー)		
動画メニュー		
動画設定		
AF モード		
セットアップメニュー		
地域と日時		
モニター設定		
日付写し込み		
手ブレ軽減		
操作音		
オートパワーオフ		
メモリー / カードの初期化 (フォーマット)		
言語 / Language		
ビデオ出力		
設定クリア		
電池設定		
バージョン情報		
付録、索引		01
取り扱い上のご注意		02
カメラについて		02
電池について		03
メモリーカードについて		05
お手入れ方法		06
クリーニングについて		06
保管について		07
故障かな?と思ったら		08
主な仕様		15
使用できるメモリーカード		18
索引		20
修理サービスのご案内		24
ニコンプラザについて		26

各部の名称

カメラ本体



1	シャッターボタン.....	14	5	フラッシュ.....	20、📷11
2	ズームレバー.....	15	6	レンズバリアー.....	
	W : 広角ズーム.....	15	7	マイク.....	📷37
	T : 望遠ズーム.....	15	8	レンズ.....	
	📷 : サムネイル表示.....	17、📷24	9	パワーコネクターカバー (別売ACアダプター接続用).....	📷72
	Q : 拡大.....	17、📷23	10	ストラップ取り付け部.....	ii
	📷 : ヘルプ.....	📷4			
3	電源スイッチ/電源ランプ.....	9			
4	セルフタイマーランプ.....	📷14			



1	フラッシュランプ.....	📷13
2	● (▶️動画撮影) ボタン	23、📷37
3	📷 (撮影モード) ボタン ...21、📷3、📷4、📷7、📷8、📷10	
4	▶️ (再生) ボタン.....	17
5	マルチセレクター.....	25
6	Ⓞ (決定) ボタン.....	25
7	MENU (メニュー) ボタン.....	25

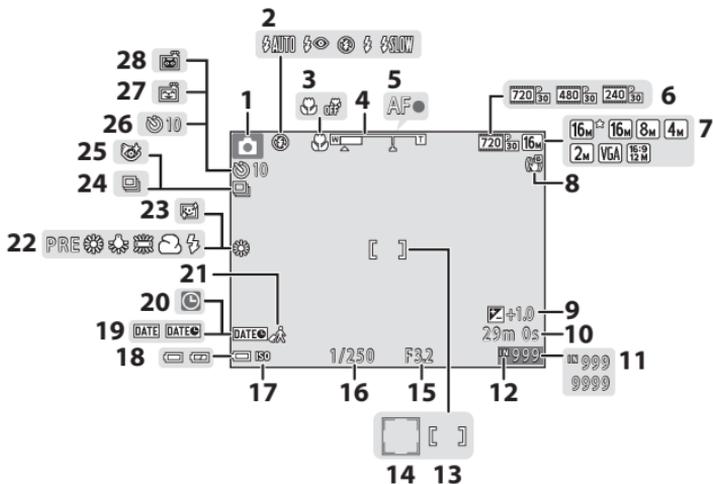
8	🗑️ (削除) ボタン.....	18
9	電池/SDカードカバー.....	6
10	USB/オーディオビデオ出力端子...27	
11	端子カバー.....	27
12	三脚ネジ穴.....	📷17
13	スピーカー.....	📷39
14	液晶モニター.....	3

液晶モニター の表示内容

表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。

初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（セットアップメニューの [モニター設定] (📄25、🔊60) → [モニター表示設定] → [情報オート] 時)。

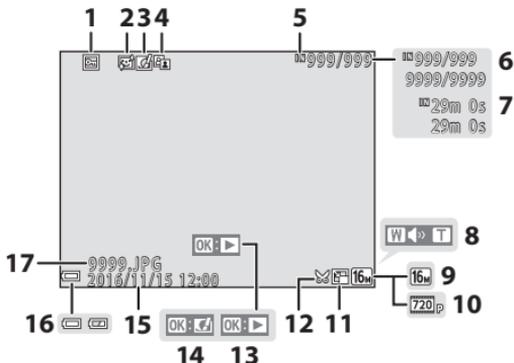
撮影モード



1	撮影モード	21
2	フラッシュモード	20、  11
3	マクロモード	20、  15
4	ズーム表示	15、  15
5	AF表示	14
6	動画設定	 55
7	画像モード	 42
8	手ブレ軽減表示	 63
9	露出補正值	20、  16
10	記録可能時間（動画）	23、  37
11	記録可能コマ数（静止画）	11
12	内蔵メモリー表示	11
13	AFエリア	14
14	AFエリア（顔認識時、 ペット検出時）	14、  6、  8
15	絞り値	15

16	シャッタースピード	15
17	ISO感度表示	 47
18	電池残量表示	11
19	日付写し込み	 62
20	日時未設定	9、  57
21	訪問先	 57
22	ホワイトバランス	 44
23	美肌効果	 48
24	連写モード	 6、  46
25	目つぶり軽減	 49
26	セルフタイマー	20、  14
27	笑顔自動シャッター	 48
28	ペット自動シャッター	 6

再生モード



1	プロテクト表示.....	🔒51	10	動画設定.....	23、🔒55
2	美肌編集済み表示.....	🔒28	11	スモールピクチャー.....	🔒29
3	クイックエフェクト済み表示...	🔒26	12	トリミング済み表示...	🔒23、🔒30
4	D-ライティング済み表示.....	🔒27	13	動画再生ガイド.....	23、🔒39
5	内蔵メモリー表示.....	8	14	クイックエフェクト設定ガイド 17、🔒26
6	画像の番号/全画像数		15	撮影日時.....	9
7	動画の再生時間		16	電池残量表示.....	11
8	音量表示.....	🔒39	17	ファイル名.....	🔒71
9	画像モード.....	🔒42			

撮影の準備をしよう

電池とSDカードを入れる

1 電池/SDカードカバーを開ける

- 電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

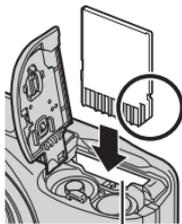
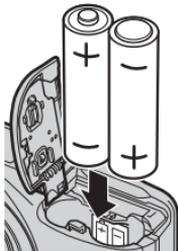


2 電池とSDカードを入れる

- 電池の+と-を正しい向きで入れてください。
- SDカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込んでください。

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。



SD カードスロット

3 電池/SDカードカバーを閉じる



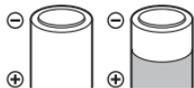
使用できる電池について

- アルカリ単3形電池（LR6）（付属の電池）※×2本
- リチウム単3形電池（FR6/L91）×2本
- Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2（ニッケル水素充電電池）×2本

※ アルカリ電池の性能は、銘柄によって大きく異なります。本書では「付属」と記載していますが、ご購入いただいた国や地域によっては、付属していないことがあります。

✓ 電池についてのご注意

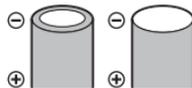
- 新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 以下のような電池は使用しないでください。



外装シールの一部またはすべてがはがれている電池



マイナス電極の一部が突き出ている、外装シールが側面にしかない電池



マイナス電極が平らな電池

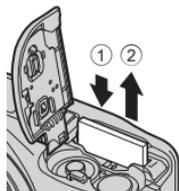
✓ SDカードの初期化について

他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。カードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニューの[カードの初期化] (□25、📷65) を選びます。

電池やSDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けます。

SDカードを指で軽く押し込むと (①)、SDカードが押し出されます (②)。



高温注意

カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカードが熱くなっていることがあります。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリーまたはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

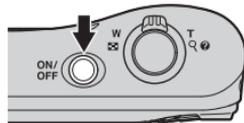
電源をONにして、表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面で📷が点滅します。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

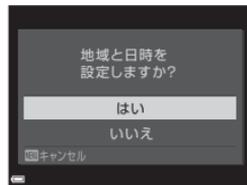
- 電源がONになると、液晶モニターが点灯します。
- もう一度、電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。



2 マルチセレクターの ▲▼ で表示言語を選び、OK ボタンを押す



3 ▲▼で [はい] を選び、OK ボタンを押す



4 ◀▶で自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、OKボタンを押す

- 夏時間をオンにするには、▲を押します（地図の上部に☀マークが表示されます）。▼を押すとオフになります。



5 ▲▼で日付の表示順を選び、OKボタンを押す

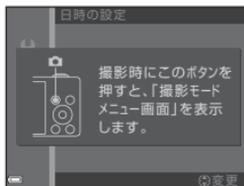
6 日時を合わせ、OKボタンを押す

- ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- [分] を選んでOKボタンを押し、設定を確認します。



7 確認画面が表示されたら、▲▼で [はい] を選び、OKボタンを押す

8 📷（撮影モード）ボタンを押す



9 ▲▼で[おまかせシーン]を選び、**OK**ボタンを押す



- 撮影画面になり、おまかせシーンモードで撮影できます。
- 撮影画面で電池残量と記録可能コマ数を確認できます。
 - 電池残量表示
 - ：電池残量はあります。
 - ：電池残量が少なくなりました。電池交換の準備をしてください。
 - 記録可能コマ数
撮影できるコマ数が表示されます。SDカードをカメラに入れていないときは、が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。

撮影モード
アイコン

電池残量
表示

撮影画面

記録可能コマ数

撮影の準備をしよう

オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約 30 秒続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニューの【オートパワーオフ】(□□25、64)で変更できます。
- 待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押します。
→ 電源スイッチ、シャッターボタン、 (撮影モード) ボタン、 (再生) ボタン、または ● (●動画撮影) ボタン

言語や日時の設定をやり直すときは

- ⌵セットアップメニュー (□□25) で【言語/Language】または【地域と日時】を設定します。
- ⌵セットアップメニュー→【地域と日時】→【タイムゾーン】でマルチセクターの▶を押し、▲で夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、▼でオフにすると1時間戻ります。

時計用電池について

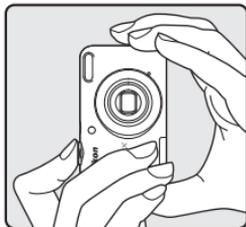
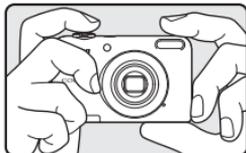
- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター (別売) を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「電源をONにして、表示言語と日時を設定する」手順3 (□□9)

カメラを使ってみよう

おまかせシーンモードで撮影する

1 カメラを構える

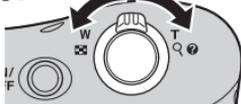
- レンズやフラッシュ、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にご覧ください。



2 構図を決める

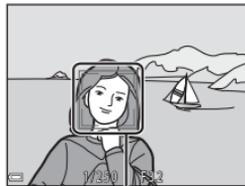
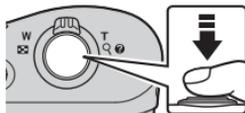
- ズーム位置を変えるには、ズームレバーを動かします (□15)。
- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります。

広い範囲を写す 大きく写す



3 シャッターボタンを半押しする (☞15)

- ピントが合うと、AFエリアが緑色に点灯します。
- 複数のAFエリアが点灯することがあります。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示 (☞3) が緑色に点灯します。
- AF エリアまたは AF 表示が点滅したときはピントが合っていない。構図を変えて半押しをやり直してください。



AF エリア

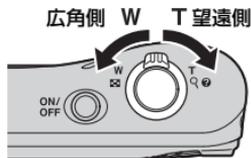
4 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する (☞15)



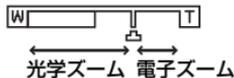
ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）側
 - 広い範囲を写す：**W**（広角）側
- 電源をONにしたときは、最も広角側になっています。



- ズームレバーを動かすと、画面上部にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを**T**側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。



電子ズームと画質の劣化について

電子ズーム使用時は、ズームの量が  マークを超えると画質が劣化します。



シャッターボタンの半押しと全押し

<p>半押し</p>	<p>シャッターボタンを軽く抵抗を感じるのところまで押し、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</p>
<p>全押し</p>	<p>シャッターボタンを深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれえます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。</p>

✔ おまかせシーンモードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください（📷4、📷7、📷8、📷10）。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は📷になります。

✔ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

📷 三脚の使用について

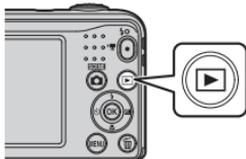
以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。

- 暗い場所で撮影するとき
- フラッシュモード（📷12）を📷（発光禁止）にして撮影するとき
- 望遠側で撮影するとき

画像を再生する

1 再生ボタンを押して、再生モードにする

- 電源OFFの状態でも再生ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。



2 マルチセレクターの▲▼◀▶で前後の画像を表示する

- 撮影に戻るには、カメラボタンまたはシャッターボタンを押します。
- 1コマ表示で03:17が表示されたときは、電源ボタンを押すと画像に効果を付けられます (26)。



1コマ表示

- 1コマ表示でズームレバーをT (Q) 側に動かすと、拡大表示されます (23)。



- 1コマ表示でズームレバーをW (Z) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります (24)。



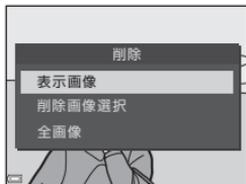
画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して、**🗑** (削除) ボタンを押す



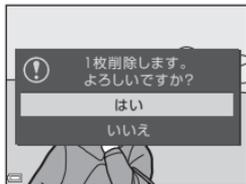
- 2 マルチセレクターの**▲▼**で [表示画像] を選び、**OK** ボタンを押す

- [表示画像] : 表示している1コマを削除します。
- [削除画像選択] : 複数の画像を選んで削除します (□□19)。
- [全画像] : すべての画像を削除します。
- 削除をやめるには、**MENU** ボタンを押します。



- 3 [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。



削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセレクトターの◀▶で削除したい画像を選び、▲で☑を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して☑を非表示にします。
- スームレバー (□1) を T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (☒) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 削除したい画像すべてに☑を表示し、Ⓚボタンを押して選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

✍ 撮影モードで画像を削除する

撮影モードで☑ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

フラッシュやセルフタイマーなどを使う

フラッシュやセルフタイマーなど、よく使う機能をマルチセレクターで設定できます。撮影画面で▲▼◀▶を押すと、以下の機能を設定できます。



- **⚡ フラッシュモード (0011)**
フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。
- **🕒 セルフタイマー (0014)**
[ON] に設定すると、シャッターボタンを押してから10秒後にシャッターをきります。
- **👉 マクロモード (0015)**
被写体に近づいて撮影するときを設定します。
- **📷 露出補正 (0016)**
画像全体の明るさを調整できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

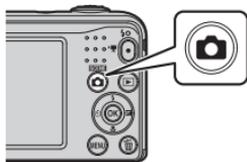
いろいろな撮影

撮影モードを変える

以下の撮影モードがあります。

- **📷 おまかせシーン (003)**
構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。
- **📷 シーン (004)**
撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。
- **SE スペシャルエフェクト (007)**
画像に効果を付けて撮影できます。
- **😊 ベストフェイス (008)**
カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます (笑顔自動シャッター)。
美肌機能で人物の肌 (顔) をなめらかにできます。
- **📷 オート撮影 (010)**
基本的な撮影ができます。
また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

1 撮影画面で📷 (撮影モード) ボタンを押す



- 2 マルチセレクターの ▲▼ で撮影モードを選び、
OK ボタンを押す



動画を撮影、再生する

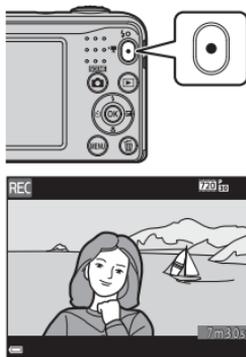
1 撮影画面を表示する

- 記録できる時間を確認します。



動画の記録可能時間

2 ● (🎥 動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する



3 もう一度● (🎥 動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する

4 再生モードの1コマ表示で動画を選び、OKボタンを押す

- 動画設定のアイコンが表示されている画像が動画です。
- 「動画を撮影する」(👁️37)
- 「動画を再生する」(👁️39)



動画設定

メニューを使う

メニューの操作には、マルチセレクターとMENUボタンを使います。
以下のメニューがあります。

- **撮影メニュー (p.41)**

撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。

画像サイズと画質の組み合わせや、連続撮影の設定などを変更できます。

- **再生メニュー (p.50)**

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押すと設定できます。

画像の編集や、スライドショーの再生などができます。

- **動画メニュー (p.55)**

撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。

動画撮影についての設定ができます。

- **セットアップメニュー (p.57)**

日時や表示言語など、カメラに関する基本的な設定ができます。

1 MENU (メニュー) ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。



2 マルチセレクターの◀を押す

- メニューアイコンが黄色で表示されます。



メニューアイコン

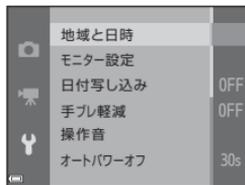
3 ▲▼でメニューアイコンを選ぶ

- メニューが切り換わります。



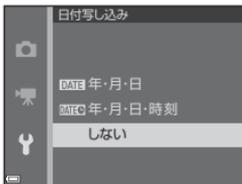
4 OKボタンを押す

- メニュー項目が選べるようになります。



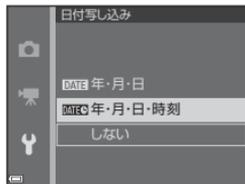
5 ▲▼でメニュー項目を選び、OKボタンを押す

- 選んだメニュー項目の設定内容が表示されます。



6 ▲▼で設定内容を選び、OKボタンを押す

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

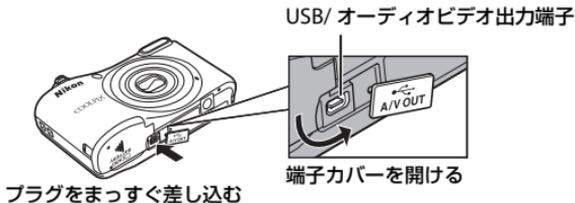


- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。
- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタン、 (撮影モード) ボタンまたは  (動画撮影) ボタンを押してください。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

カメラとの接続方法

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



プラグをまっすぐ差し込む

- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてからプラグを外してください。
- 別売のACアダプター EH-65Aを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-65A以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する

031



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：オーディオビデオケーブル（AVケーブル）EG-CP14の映像プラグと音声プラグをテレビの外部入力端子に接続します。

パソコンに画像を取り込む（ViewNX-i）

029



パソコンに画像や動画を取り込んで、閲覧、編集ができます。
接続方法：USBケーブル UC-E16をパソコンのUSB端子に接続します。
• パソコンと接続する前に、ViewNX-iをパソコンにインストールしてください（029）。

パソコンを使わずにプリントする

032



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：USBケーブル UC-E16をプリンターのUSB端子に接続します。

パソコンに画像を取り込む (ViewNX-i)

ViewNX-iをインストールする

ViewNX-iは、画像や動画の取り込み、閲覧、編集ができる無償ソフトウェアです。下記ウェブサイトから最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。

ViewNX-i : <http://downloadcenter.nikonimglib.com>

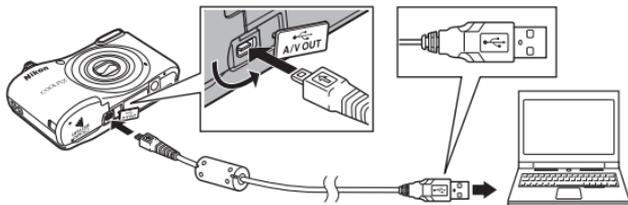
最新情報、動作環境は、当社ウェブサイトのサポート情報でご確認ください。

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- パソコンのカードスロット、またはパソコンに接続した市販のカードリーダーにSDカードを差し込む。
- SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする。



内蔵メモリーの画像をパソコンに取り込むには

以下のいずれかの方法で行います。

- 再生メニューの「画像コピー」(□□25、●●54)で、内蔵メモリーの画像をSDカードにコピーしてから、SDカードの画像をパソコンに取り込む。
- カメラにSDカードを入れずに、カメラをパソコンに接続する。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選び画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- **Windows 7をお使いの場合**

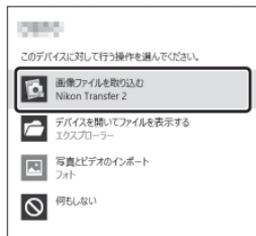
右の画面が表示されたときは、次の手順で Nikon Transfer 2 を選びます。

- 1 「画像とビデオのインポート」の「プログラムの変更」をクリックすると表示される画面で、Nikon Transfer 2 を選んで、「OK」をクリックする

- 2 Nikon Transfer 2 アイコンをダブルクリックする

- **Windows 10またはWindows 8.1をお使いの場合**

右のダイアログが表示されたときは、ダイアログをクリックし、「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2」をクリックします。



- **Mac OS Xをお使いの場合**

Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、Mac付属のアプリケーション「イメージキャプチャ」を起動し、カメラを接続時に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

- ✔** USBケーブル接続についてのご注意
USBハブに接続した場合の動作は保証していません。

- 📎** ViewNX-iの詳しい使い方は
ViewNX-iのヘルプを参照してください。

2 Nikon Transfer 2が起動したら、[転送開始] をクリックする



- 画像の取り込みが始まり、完了するとViewNX-iが起動して取り込んだ画像が表示されます。

3 接続を解除する

- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。
- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを抜きます。



詳細編

詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。

撮影

 (おまかせシーン) モード.....		3
シーンモード (シーンに合わせて撮影する)		4
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する)		7
ベストフェイスモード (笑顔を撮影する)		8
 (オート撮影) モード.....		10
マルチセクターで設定できる機能.....		11
組み合わせて使えない機能		19
ピント合わせについて		20

再生

拡大表示		23
サムネイル表示 / カレンダー表示		24
画像の編集 (静止画)		25
テレビとの接続 (テレビ画面での再生)		31
プリンターとの接続 (ダイレクトプリント)		32

動画

動画を撮影する.....	🕶️37
動画を再生する.....	🕶️39

メニュー

撮影メニューの種類.....	🕶️41
撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード).....	🕶️42
ベストフェイスメニュー	🕶️48
再生メニュー	🕶️50
動画メニュー	🕶️55
セットアップメニュー	🕶️57

資料

警告メッセージ.....	🕶️68
記録データのファイル名	🕶️71
別売アクセサリ.....	🕶️72

SCENE (おまかせシーン) モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (おまかせシーン) モード →  ボタン

シーンを自動判別すると、撮影画面の撮影モードアイコンが切り換わります。

	ポートレート
	風景
	夜景ポートレート
	夜景
	クローズアップ
	逆光
	その他の撮影シーン

SCENE (おまかせシーン) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (📷11)
- セルフタイマー (📷14)
- 露出補正 (📷16)
- おまかせシーンメニュー (📷41)

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （上から2番目のアイコン※） → → → シーンを選択する → ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

ポートレート （初期設定）	風景※2	スポーツ※1 （5）	夜景ポートレート※3 （5）
パーティー ※1 （5）	ビーチ※1	雪※1	夕焼け※1、3
トワイライト※2、3	夜景※2、3	クローズアップ※1 （5）	料理※1 （5）
打ち上げ花火※2、3 （6）	逆光※1 （6）	ペット （6）	

※1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※2 ピントは遠景に合います。

※3 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンの種類を選び、ズームレバー（1）をT（）側に動かすと、各シーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーをT（）側に動かします。



ヒントとご注意

📷 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、約 1.2 コマ / 秒の速さで約 6 コマまで連写できます（[画像モード] が [15 4608×3456] のとき）。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。

🌃 夜景ポートレート

- フラッシュが常に発光します。

🎉 パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

🔍 クローズアップ

- マクロモード (👁️15) が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。

🍴 料理

- マクロモード (👁️15) が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。



☀ 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4 秒に固定されます。

📷 逆光

- フラッシュが常に発光します。

🐾 ペット

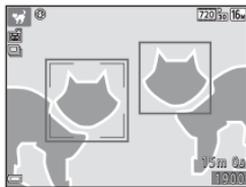
- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- 🐾 [ペット] を選ぶと表示される画面で、 [単写] または  [連写] を選びます。
 -  [単写]：犬または猫の顔を検出するたびに、1 コマ撮影します。
 -  [連写]：犬または猫の顔を検出するたびに、3 コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターについて

- マルチセレクターの  を押すと、[ペット自動シャッター] の設定を変更できます。
 - ：犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
 - ：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。
- [ペット自動シャッター] は、連写で5回繰り返すと [OFF] になります。
- [ペット自動シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。 [連写] 設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、連写できます。

✔ AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠の AF エリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



スペシャルエフェクトモード(効果を付けて撮影する)

画像に効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → SE (上から3番目のアイコン*) →
▶▶ ▲▼ → 効果を選択する → ボタン

* 前回選んだ効果のアイコンが表示されます。

種類	内容
SE ノスタルジックセピア (初期設定)	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気になります。
硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
セレクトカラー*	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
POP ポップ*	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気になります。
CO クール	画像全体の色を、ブルー系のモノトーンにします。
ミラー*	画像中心から左半分を反転して、左右対称な写真にします。

* 効果は動画に反映されません。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- [セレクトカラー] を選んだときは、マルチセクターの ▲▼ で色を選び、 ボタンで決定します。色を選び直すには、もう一度 ボタンを押します。



ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター（48））。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン →  ベストフェイスモード →  ボタン

1 構図を決める

- 人物の顔にカメラを向けてください。

2 シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- 笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。

3 自動撮影を終了する

- 以下のいずれかの操作で終了します。
 - [笑顔自動シャッター] を [しない] にする
 -  ボタンを押して他の撮影モードに切り換える

ベストフェイスモードについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります（20）。シャッターボタンを押しても撮影できます。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅しなくなります。

ベストフェイスモードで設定できる機能

- フラッシュモード (0011)
- セルフタイマー (0014)
- 露出補正 (0016)
- ベストフェイスメニュー (0041)

(オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (オート撮影) モード →  ボタン

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

(オート撮影) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (11)
- セルフタイマー (14)
- マクロ (15)
- 露出補正 (16)
- 撮影メニュー (41)

マルチセレクターで設定できる機能

設定できる機能は、撮影モードによって異なります（17）。

フラッシュを使う

（オート撮影）モードなどでは、フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 マルチセレクターの▲（）を押す



2 フラッシュモード（12）を選び、 ボタンを押す

-  ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



フラッシュモードの種類

自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。

- 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

赤目軽減自動発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します (👁️13)。

発光禁止

フラッシュは発光しません。

- 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。

強制発光

常にフラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

スローシンクロ

夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュランプについて

シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
- 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
- 消灯：発光しません。

電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。



フラッシュモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります (p.17)。
-  (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してから、シャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒後にシャッターをきります。

1 マルチセレクターの◀ (⊙) を押す



2 [ON] を選び、OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの [ペット] のときは、 (ペット自動シャッター) が表示されます (Ⓔ6)。セルフタイマーは使えません。



3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。



4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは [OFF] になります。
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



セルフタイマーの設定について

撮影モードによっては、設定できないことがあります (Ⓔ17)。

マクロ（接写）モードを使う

被写体に近づいて撮影するときに設定します。

1 マルチセレクターの▼ (👇) を押す



2 [ON] を選び、OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



3 ズームレバーを動かし、👁️マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約30 cmまでの被写体にピント合わせができます。
- 📐マークのズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。



✔ フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

🔧 マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります (📷17)。
- 📷 (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

画像全体の明るさを調整できます。

1 マルチセレクターの▶ (ⓧ) を押す



2 補正值を選び、OK ボタンを押す

- 明るくする：「+」側に設定します。
- 暗くする：「-」側に設定します。
- OK ボタンを押さなくても、補正值が設定されます。



露出補正の設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります (📷17)。
- 📷 (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ ()11)	セルフタイマー ()14)	マクロ ()15)	露出補正 ()16)
 (おまかせシーン)	 AUTO ^{※1}	OFF	OFF ^{※2}	0.0
シーン				
 (ポートレート)		OFF	OFF ^{※3}	0.0
 (風景)	 ^{※3}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
 (スポーツ)	 ^{※3}	OFF ^{※3}	OFF ^{※3}	0.0
 (夜景ポートレート)	 ^{※4}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
 (パーティー)	 ^{※5}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
 (ビーチ)	 AUTO	OFF	OFF ^{※3}	0.0
 (雪)	 AUTO	OFF	OFF ^{※3}	0.0
 (夕焼け)	 ^{※3}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
 (トワイライト)	 ^{※3}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
 (夜景)	 ^{※3}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
 (クローズアップ)		OFF	ON ^{※3}	0.0
 (料理)	 ^{※3}	OFF	ON ^{※3}	0.0
 (打ち上げ花火)	 ^{※3}	OFF ^{※3}	OFF ^{※3}	0.0 ^{※3}
 (逆光)	 ^{※3}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
 (ペット)	 ^{※3}	 ^{※6}	OFF	0.0
SE (スペシャル エフェクト)		OFF	OFF	0.0
 (ベストフェイス)	 AUTO ^{※7}	OFF ^{※8}	OFF ^{※3}	0.0
 (オート撮影)	 AUTO	OFF	OFF	0.0

- ※1 判別したシーンに合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。④（発光禁止）に変更できます。
- ※2 変更できません。[クローズアップ] に判別されると、自動的にマクロモードになります。
- ※3 変更できません。
- ※4 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
- ※5 赤目軽減スローシンクロに切り換わる場合があります。
- ※6 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター (666) のON/OFFを設定できます。
- ※7 [目つぶり軽減] が [する] のときは使えません。
- ※8 [笑顔自動シャッター] を [しない] にすると設定できます。

組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写 (📷46)	[連写] にすると、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (📷49)	[目つぶり軽減] を [する] にすると、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	笑顔自動シャッター (📷48)	[笑顔自動シャッター] にすると、セルフタイマーは使えません。
連写	セルフタイマー (📷14)	セルフタイマーにすると、[単写] に固定されます。
シャッター音	連写 (📷46)	[連写] にすると、シャッター音は鳴りません。

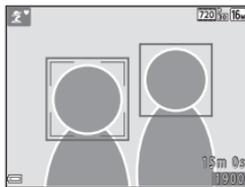
ピント合わせについて

ピントを合わせる位置（AFエリア）は、撮影モードによって異なります。

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- **☺**（おまかせシーン）モード（**003**）の [ポートレート]、 [夜景ポートレート]
- シーンモード（**004**）の [ポートレート]、 [夜景ポートレート]
- ベストフェイスモード（**008**）



複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。

✔ 顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下の場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきけると、人物の顔をカメラが検出し、画像処理で肌（顔）をなめらかにします（最大3人）。

- ベストフェイスモード（8）
- （おまかせシーン）モード（3）の [ポートレート] または [夜景ポートレート]
- シーンモード（4）の [ポートレート] または [夜景ポートレート]

美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（22）をお試しください。

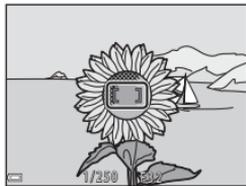
フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体にAFエリアが合わない場合は、フォーカスロック撮影をおすすめします。

1 (オート撮影) モードにする (📷10)

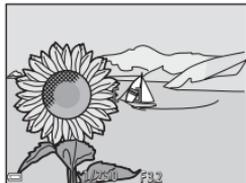
2 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。



3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。

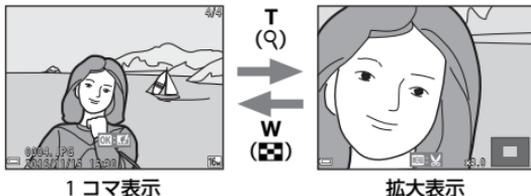


4 シャッターボタンを全押しして撮影する



拡大表示

再生モードの1コマ表示(□17)でズームレバーを**T(Q)**側に動かすと、拡大表示されます。



- 拡大率を調節するには、ズームレバー (**W** (■) / **T** (Q)) を動かします。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- 拡大表示中にⓧボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

画像をトリミングするには

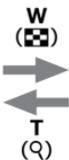
拡大表示中に**MENU**ボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます (📷30)。

サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示 (□17) でズームレバーをW (☒) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



1コマ表示



サムネイル表示



カレンダー表示

- 表示コマ数は、ズームレバー (W (☒) / T (Q)) で変更できます。
- サムネイル表示でマルチセクターの▲▼◀▶を押して、画像を選びOKボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で▲▼◀▶を押して、日付を選んでOKボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。

カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2016年1月1日」の画像として扱われます。

画像の編集（静止画）

画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。



画像編集の制限

- 画像は10回まで編集できます。
- 画像サイズや編集の種類によっては、編集できないことがあります。

クイックエフェクト（色合いや雰囲気を変える）

クイックエフェクトの種類	内容
トイカメラ風 1/トイカメラ風 2/クロスプロセス（赤）/クロスプロセス（黄）/クロスプロセス（緑）/クロスプロセス（青）	主に色合いを変化させ、雰囲気の異なる画像にします。
ソフト/魚眼効果/クロススクリーン/ミニチュア効果	画像を加工して、さまざまな効果を付けます。

- 1 効果を付けたい画像を1コマ表示して、**OK** ボタンを押す



- 2 マルチセクターの▲▼◀▶で効果を選び、**OK** ボタンを押す

- ・ズームレバー（**Q1**）を**T**（**Q**）側に動かすと1コマ表示に、**W**（**Q2**）側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- ・効果を付けた画像を保存せずに終了するには、**MENU** ボタンを押します。



- 3 **はい** を選び、**OK** ボタンを押す

- ・編集画像が作成されます。

D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

▶ ボタンを押す（再生モード） → 画像を選ぶ → MENU ボタン → D-ライティング → OK ボタン

マルチセレクターの▲▼で【実行】を選び、OK ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、【キャンセル】を選び、OK ボタンを押します。



美肌（肌をなめらかにする）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン → 美肌 → OK ボタン

1 マルチセレクトの▲▼で効果の度合いを選び、OK ボタンを押す

- 確認画面になり、編集した顔が拡大表示されます。
- 中止するときは、◀を押します。



2 効果を確認し、OK ボタンを押す

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- 編集した顔が複数あるときは、◀▶で顔の切り換えができます。
- 効果の度合いを変えたいときは、MENU ボタンを押して手順1に戻ります。



✓ 美肌についてのご注意

- 顔を検出できないときは、美肌の編集はできません。
- 顔の向きや明るさなどによっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

▶ ボタンを押す(再生モード) → 画像を選ぶ → MENU ボタン → スモールピクチャー → ⓧ ボタン

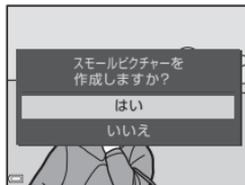
1 マルチセクターの ▲▼ でスモールピクチャーのサイズを選び、ⓧ ボタンを押す

- [設定 4608×2592] の画像は、[640×360] のみ表示されます。



2 [はい] を選び、ⓧ ボタンを押す

- 編集画像が作成されます（圧縮率約1/16）。



トリミング（画像の一部を切り抜く）

1 ズームレバーで拡大表示する（👁️23）

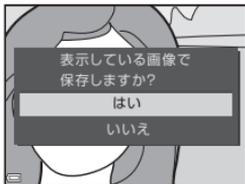
2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、MENUボタンを押す

- ・ズームレバーを**T**（🔍）または**W**（📐）側に動かして拡大率を調節します。📐:📏が表示される拡大率にしてください。
- ・マルチセレクターの▲▼◀▶で表示範囲を移動します。



3 [はい] を選び、🔍ボタンを押す

- ・編集画像が作成されます。



 **画像サイズについて**

トリミングして画像サイズが320×240以下になった画像は、再生画面で小さく表示されます。

 **縦位置の画像を縦位置のままトリミングするには**

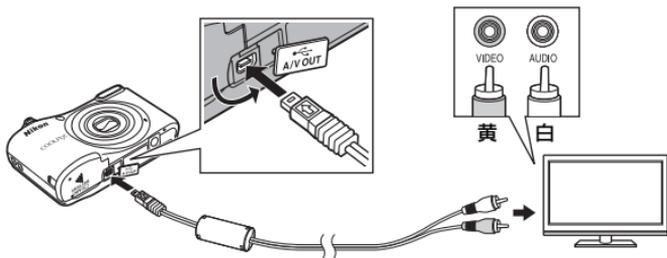
[画像回転]（👁️53）で画像を横位置に回転してからトリミングし、もう一度回転して縦位置に戻します。

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

カメラをオーディオビデオケーブル（📺72）でテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐ引き抜いてください。



2 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの▶ボタンを長押しして電源をONにする

- 画像がテレビに表示されます。
- カメラの液晶モニターは点灯しません。

✔ 画像がテレビに映らないときは

セットアップメニューの【ビデオ出力】（📺65）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。

カメラとプリンターを接続する

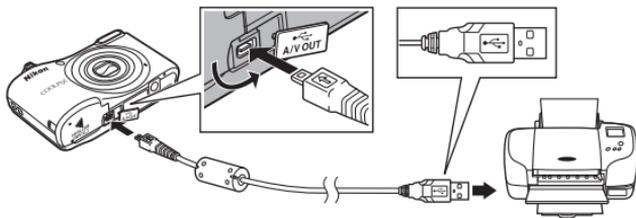
1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

- ・ プリンターの設定を確認します。

3 USBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

- ・ プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



4 カメラの電源をONにする

- カメラの液晶モニターに [PictBridge] 画面 (①) が表示された後、[プリント画像選択] 画面 (②) が表示されます。



1コマずつプリントする

1 カメラとプリンターを接続する (6-32)

2 マルチセクターでプリントする画像を選び、**OK**ボタンを押す

- ズームレバーを **W** (四角) 側に動かすと一覧表示に、**T** (丸) 側に動かすと1コマ表示に切り換わります。



3 ▲▼で [プリント枚数設定] を選び、**OK**ボタンを押す



- 4 プリント枚数（9枚まで）を設定し、**OK** ボタンを押す



- 5 [用紙設定] を選び、**OK** ボタンを押す

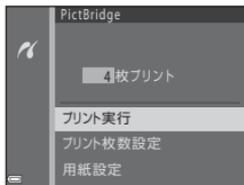


- 6 用紙サイズを選び、**OK** ボタンを押す

- プリンター側の設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。

- 7 [プリント実行] を選び、**OK** ボタンを押す

- プリントが始まります。



- 8 プリントが終了したら、カメラの電源をOFFにしてUSBケーブルを抜く

複数の画像をプリントする

1 カメラとプリンターを接続する (032)

2 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、MENU ボタンを押す



3 マルチセレクターの▲▼で [用紙設定] を選び、OK ボタンを押す

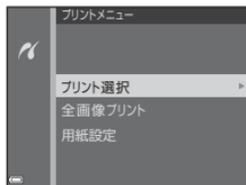
- プリントメニューを終了したいときは、MENU ボタンを押します。



4 用紙サイズを選び、OK ボタンを押す

- プリンター側の設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。

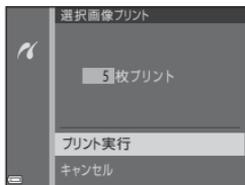
5 [プリント選択] または [全画像プリント] を選んで、OK ボタンを押す



プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定します。

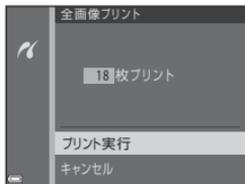
- マルチセレクターの◀▶で画像を選び、▲▼でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖨️とプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーをT (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。
- 右の画面が表示されたら、**[プリント実行]**を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。



全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントします。

- 右の画面が表示されたら、**[プリント実行]**を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。



6 プリントが終了したら、カメラの電源をOFFにしてUSBケーブルを抜く

動画を撮影する

- SDカードを入れていないとき（内蔵メモリー使用時）は、**[動画設定]**（55）は **[480/30p]** または **[240/30p]** になります。**[720/30p]** は選べません。

1 撮影画面を表示する

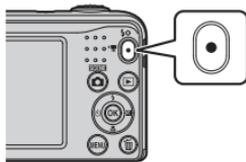
- 記録できる時間を確認します。
- セットアップメニューの **[モニター設定]**（60）の **[モニター表示設定]** で **[動画枠+情報オート]** にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。
- 動画の撮影時は、画角（写る範囲）が静止画に比べて狭くなります。



動画の記録可能時間

2 ●（動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。



3 もう一度●（動画撮影）ボタンを押して、撮影を終了する

✓ 動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、SDカードの種類によって異なることがあります。

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

✓ 動画撮影についてのご注意

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします (📷18)。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 光学ズームの倍率は、動画の撮影を開始すると変更できません。
- 動画の撮影中は、ズームレバーで電子ズームを操作できます。ズームできる範囲は、撮影開始前の光学ズーム倍率から4倍までです。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- ズームレバーなどの操作音やオートフォーカス、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画の撮影では、液晶モニターにスミア (📷3) が発生すると、記録される動画にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体 (布地や建物の格子窓など) に色の付いた縞模様 (干渉縞、モアレ) が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✓ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で作ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。
自動終了までの残りの秒数 (🕒10s) が画面に表示されます。
自動終了後、電源がOFFになります。
カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

✓ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」(👁️21) では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの【AFモード】を【シングルAF】(初期設定)にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●(🌟動画撮影) ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画を再生する

▶ ボタンを押して再生モードにします。

動画設定 (🔧55) のアイコンが表示されている画像が動画です。

Ⓚ ボタンを押すと、再生できます。

- 音量を調節するには、再生中にズームレバー (🔊1) を動かします。



動画設定



音量表示

動画再生中の操作

画面に操作パネルが表示されます。

マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、

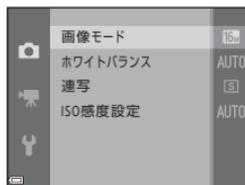
Ⓞ ボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀	Ⓞ ボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	▶	Ⓞ ボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。	
		◀	コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		▶	コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。	

撮影メニューの種類

撮影モードでMENUボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。



設定できるメニューは、撮影モードによって、以下のように異なります。

	おまかせ シーン	シーン	スペシャル エフェクト	ベスト フェイス	オート 撮影
画像モード (📷42)	○	○	○	○	○
ホワイトバランス (📷44)	×	×	×	×	○
連写 (📷46)	×	×	×	×	○
ISO感度設定 (📷47)	×	×	×	×	○
美肌効果 (📷48)	×	×	×	○	×
笑顔自動シャッター (📷48)	×	×	×	○	×
目つぶり軽減 (📷49)	×	×	×	○	×

撮影メニュー（📷（オート撮影）モード）

画像モード（画像サイズ/画質）

撮影画面にする → MENU ボタン → 撮影メニュー → 画像モード →  ボタン

記録する画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選びます。画像サイズの大きい画像モードほど大きくプリントするのに適し、圧縮率が低いほど高画質になりますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目※	圧縮率	アスペクト比（横：縦）
 4608×3456★	約1/4	4：3
 4608×3456（初期設定）	約1/8	4：3
 3264×2448	約1/8	4：3
 2272×1704	約1/8	4：3
 1600×1200	約1/8	4：3
 640×480	約1/8	4：3
 4608×2592	約1/8	16：9

※ 記録データの総画素数（ピクセル）と横×縦の画素数を表しています。

例：  4608×3456：約16メガピクセル=4608×3456ピクセル

画像モードの設定について

- 画像モードは、（オート撮影）モード以外でも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます（□11）。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画像モードでも、JPEG 圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。SDカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。
- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

ホワイトバランス（色合いの調整）

📷(オート撮影)モードの撮影画面にする → MENUボタン → ホワイトバランス → ⓧボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

- 通常は「オート」で撮影してください。撮影する画像の色味を変更したい場合は、設定を変更してください。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
PRE プリセットマニュアル	「オート」や「電球」などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います（🔌45）。
☀️ 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
💡 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
💡 蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
☁️ 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
⚡ フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

✔️ ホワイトバランスについてのご注意

- 「オート」、「フラッシュ」以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを🔌（発光禁止）に設定してください（🔌11）。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

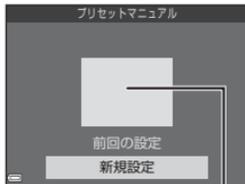
2 マルチセレクターの▲▼で [ホワイトバランス] の [プリセットマニュアル] を選び、**OK** ボタンを押す

- レンズが測定用のズーム位置になります。



3 [新規設定] を選び、用意した被写体を測定窓に収める

- 前回の測定値を使いたいときは、[前回の設定] を選んで **OK** ボタンを押します。



測定窓

4 **OK** ボタンを押して測定する

- シャッターがきかれて、新規設定が終了します（画像は記録されません）。

✓ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス] を [オート] または [フラッシュ] に設定してください。

連写

 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENUボタン → 連写 →  ボタン

項目	内容
 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
 連写	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約 1.2 コマ/秒、連続撮影可能コマ数は約 6 コマです (画像モード  4608×3456 時)。

連写についてのご注意

- [連写] で撮影するときは、フラッシュは使えません。ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SDカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

ISO感度設定

 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENUボタン → ISO感度設定 → OKボタン

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	ISO 80～1600の範囲で自動設定します。
80、100、200、400、800、1600	ISO感度を選んだ値に固定します。

 撮影画面のISO感度表示について

[オート] 時は、感度が上がったときにISOが表示されます。

ベストフェイスメニュー

- [画像モード]については、「画像モード(画像サイズ/画質)」(p.42)をご覧ください。

美肌効果

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENUボタン → 美肌効果 → OKボタン

項目	内容
<input checked="" type="checkbox"/> する (初期設定)	シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し(最大3人)、画像処理で肌(顔)をなめらかにしてから画像を記録します。
<input type="checkbox"/> しない	美肌機能をOFFにします。

撮影画面の被写体では、効果を確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

笑顔自動シャッター

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENUボタン → 笑顔自動シャッター → OKボタン

カメラが人物の笑顔を検出するたびにシャッターをきります。

項目	内容
<input checked="" type="checkbox"/> する (初期設定)	笑顔自動シャッターを設定します。
<input type="checkbox"/> しない	笑顔自動シャッターをOFFにします。

目つぶり軽減

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENU ボタン → 目つぶり軽減 → OK ボタン

項目	内容
☑ する	撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 <ul style="list-style-type: none">目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、[目つぶり検出した画像を記録しました。]と数秒間表示されます。フラッシュは使えません。
しない (初期設定)	目つぶり軽減機能をOFFにします。

再生メニュー

- 画像編集機能については、「画像の編集（静止画）」（25）をご覧ください。

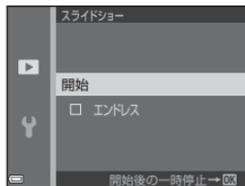
スライドショー

 ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン → スライドショー →  ボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目だけを表示します。

1 マルチセクターの▲▼で [開始] を選び、 ボタンを押す

- スライドショーが始まります。
- 繰り返し再生するには、[開始] を選ぶ前に [エンドレス] を選んで  ボタンを押します。
- スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス] に設定している場合も含め、最大約30分です。



2 終了または再開する

- 再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。終了するには、 を選び  ボタンを押します。再開するには、 を選び  ボタンを押します。



再生中の操作

- ◀▶ でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- 一時停止または途中で終了したいときは、 ボタンを押します。

プロテクト設定

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENUボタン → プロテクト設定 → OKボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択の画面 (🔗52) で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。

内蔵メモリー/SDカードを初期化 (フォーマット) (🔗65) すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

画像選択画面の操作方法

操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



1 マルチセクターの◀ ▶で画像を選ぶ

- ・ズームレバー (□1) を **T** (Q) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (E) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- ・[画像回転]、1コマずつプリントするときの [プリント画像選択] の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ



2 ▲▼でON/OFF(またはプリント枚数)を設定する

- ・ONにすると、選択画像にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



3 OKボタンを押して画像選択を決定する

- ・[選択画像コピー] などでは確認画面になります。画面の表示に従って操作してください。

画像回転

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENUボタン → 画像回転 → OKボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。
静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと（52）、画像回転の画面が表示されます。マルチセクターの◀▶を押すと90度回転します。



反時計方向に
90度回転



時計方向に
90度回転

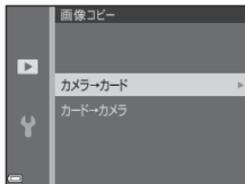
OKボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン → 画像コピー → OK ボタン

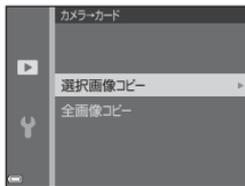
内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

- 1 マルチセレクターの▲▼でコピーする方向を選び、OK ボタンを押す



- 2 コピーの方法を選び、OK ボタンを押す

- [選択画像コピー] を選んだときは、画像選択の画面で、画像を選びます (p.52)。



✓ 画像コピーについてのご注意

- このカメラで記録できるファイル形式のみコピーできます。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像は動作を保証していません。

✎ 画像が記録されていないSDカードへのコピーについて

再生モードに切り換えると、[撮影画像がありません。]と表示されますが、MENU ボタンを押すと [画像コピー] を選べます。

動画メニュー

動画設定

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → 動画設定 → 設定ボタン

撮影する動画の種類を選びます。

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします(※18)。

項目 (画像サイズ/フレームレート、記録方式)	画像サイズ	アスペクト比 (横:縦)
 720/30p (初期設定※)	1280×720	16 : 9
 480/30p	640×480	4 : 3
 240/30p	320×240	4 : 3

※ SDカードを入れていないとき(内蔵メモリー使用時)は、 480/30p または  240/30p になります。

AFモード

撮影画面にする → MENU ボタン →  メニューアイコン → AFモード →  ボタン

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	● ( 動画撮影) ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF] での撮影をおすすめします。

セットアップメニュー

地域と日時

MENU ボタン → 設定メニューアイコン → 地域と日時 → 設定ボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
日時の設定	<ul style="list-style-type: none">◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。[分]を選んで 設定ボタン を押し、設定を完了します。 
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。
タイムゾーン	タイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。 <ul style="list-style-type: none">自宅（🏠）を設定してから、訪問先（📍）のタイムゾーンを設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録できます。

タイムゾーンの設定方法

- 1 マルチセレクターの▲▼で [タイムゾーン] を選び、Ⓚ ボタンを押す



- 2 [🏠 自宅] または [📍 訪問先] を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 自宅か訪問先の日時に切り換わります。

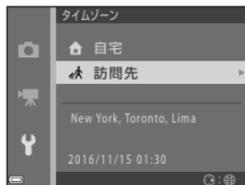
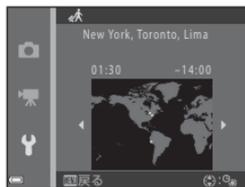


- 3 ▶ を押す



4 ◀▶でタイムゾーンを選ぶ

- ▲を押すと夏時間（サマータイム）になり、🌞が表示されます。解除するには、▼を押します。
- 🏠ボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、**[日時の設定]** で合わせてください。



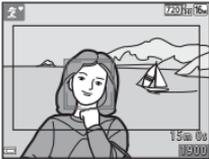
モニター設定

MENUボタン → Yメニューアイコン → モニター設定 → OKボタン

項目	内容
モニター表示設定	画面に情報を表示するかどうかを設定します。
画面の明るさ	5段階で調節できます。 • 初期設定：[3]

[モニター表示設定] について

	撮影時	再生時
情報ON		
情報オート (初期設定)	[情報ON] と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると [情報OFF] と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF		

	撮影時	再生時
格子線+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。 動画撮影中は格子線を表示しません。</p>	【情報オート】と同じです。
動画枠+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。 動画撮影中は動画枠を表示しません。</p>	【情報オート】と同じです。

日付写し込み

MENU ボタン → Ƴメニューアイコン → 日付写し込み → Ⓜ ボタン

撮影時に日時を画像に写し込んで記録します。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。



項目	内容
DATE 年・月・日	日付を写し込みます。
DATE 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
しない (初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。

日付写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日時を写し込めません。
 - シーンモードの [ペット] (🐾 [連写] 時)
 - 動画
- 画像サイズが小さいと、日時が読みにくいことがあります。

手ブレ軽減

MENU ボタン → メニューアイコン → 手ブレ軽減 → ボタン

撮影するときの手ブレ軽減を設定します。

項目	内容
する	以下の条件になると、静止画の撮影時に手ブレの影響を軽減します。 <ul style="list-style-type: none">フラッシュモードが (発光禁止) または (スローシンクロ) のときシャッタースピードが低速のとき被写体が暗いとき 動画の撮影時は、常に手ブレ補正を行います。
しない (初期設定)	手ブレを軽減しません。

[する] に設定すると、撮影画面に が表示されたときに、撮影状況に応じてカメラが手ブレを軽減します (3)。

手ブレ軽減についてのご注意

- スローシンクロを除き、フラッシュ使用時は手ブレ軽減は作動しません。
- 以下のシーンモードのときは、手ブレ軽減は作動しません。
 - スポーツ (5)
 - 夜景ポートレート (5)
 - トワイライト (4)
 - 夜景 (4)
 - 打ち上げ花火 (6)
 - 逆光 (6)
 - ペット (6)
- 手ブレが大きい場合、手ブレ軽減の効果が低くなります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

操作音

MENU ボタン →  メニューアイコン → 操作音 →  ボタン

項目	内容
設定音	[あり] (初期設定) にすると、操作時に設定音 (電子音1回)、合焦音 (電子音2回)、警告音 (電子音3回)、およびオープニング音が鳴ります。 • シーンモードの [ベット] では鳴りません。
シャッター音	[あり] (初期設定) にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。 • 連写時や動画撮影時、シーンモードの [ベット] では鳴りません。

オートパワーオフ

MENU ボタン →  メニューアイコン → オートパワーオフ →  ボタン

カメラが待機状態 (□□12) になるまでの時間を設定します。
[30 秒] (初期設定)、[1 分]、[5 分]、[30 分] から選べます。

オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- メニュー表示中：3分
- オーディオビデオケーブル接続中：30分

メモリー / カードの初期化（フォーマット）

MENU ボタン → 冫メニューアイコン → メモリーの初期化 / カードの初期化 → OK ボタン

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

初期化すると、内蔵メモリー / SDカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池 / SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 内蔵メモリーを初期化するには、SDカードを取り出します。セットアップメニューの項目に **メモリーの初期化** が表示されます。
- SDカードを初期化するには、SDカードをカメラに入れます。セットアップメニューの項目に **カードの初期化** が表示されます。

言語 / Language

MENU ボタン → 冫メニューアイコン → 言語 / Language → OK ボタン

画面に表示する言語を設定します。

ビデオ出力

MENU ボタン → 冫メニューアイコン → ビデオ出力 → OK ボタン

テレビとの接続に必要な設定を行います。

ビデオの出力方式を **[NTSC]** と **[PAL]** から選びます。

[NTSC] と **[PAL]** はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。

設定クリアー

MENU ボタン →  メニューアイコン → 設定クリアー →  ボタン

[はい] を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- [地域と日時]、[言語/Language] など、一部の設定はリセットされません。

ファイル番号の連番をリセットする

内蔵メモリー /SD カード内の画像をすべて削除 (□18) してから [設定クリアー] を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。

電池設定

MENU ボタン →  メニューアイコン → 電池設定 →  ボタン

電池残量表示 (□11) を正しく機能させるために、使用する電池の種類に合わせて設定してください。

項目	内容
 アルカリ電池 (初期設定)	アルカリ単3形電池 (LR6)
 COOLPIX (Ni-MH)	Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 (ニッケル水素充電電池)
 リチウム電池	リチウム単3形電池 (FR6/L91)

バージョン情報

MENU ボタン → ㄱメニューアイコン → バージョン情報 → OK ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	📖
カードがロックされています。	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。「Lock」を解除してください。	—
このカードは使えません。	SDカードへのアクセス異常です。 <ul style="list-style-type: none"> 動作確認済みのカードを使ってください。 カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 カードが正しく挿入されているか確認してください。 	6、 🔍:18
カードに異常があります。		
このカードは初期化されていません。初期化しますか？	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、[いいえ] を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。[はい] を選んで🔍 ボタンを押すと、SDカードを初期化できます。	🔍:5
メモリー残量がありません。	不要な画像を削除するか、SDカードを交換してください。	6、18
画像を保存できません。	画像記録中にエラーが発生しました。SDカードを交換するか、内蔵メモリー /SDカードを初期化してください。	🔍:65
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。SDカードを交換するか、内蔵メモリー /SDカードを初期化してください。	🔍:65
	画像コピー先の容量不足です。コピー先の不要な画像を削除してください。	18
この画像は編集できません。	編集可能な条件を確認してください。	🔍:25、 🔍:13

表示	考えられる原因や対処法	📖
動画記録できません。	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	🔊38、🔊18
撮影画像がありません。	撮影済みの画像がありません。 <ul style="list-style-type: none"> 内蔵メモリー内の画像を再生するときは、SDカードをカメラから取り出ししてください。 内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーするときは、MENUボタンを押して再生メニューの「画像コピー」を選んでください。 	8 🔊54
このファイルは表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	—
表示できる画像がありません。	スライドショーなどで表示できる画像がありません。	🔊50
このファイルは削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。プロテクトを解除してください。	🔊51
レンズの動作不良です。電源OFF後、再度実行してください。	エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	9
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	🔊32
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	6、9

表示	考えられる原因や対処法	📖
プリンターエラー： プリンターを確認してください。	エラーの原因を取り除いた後、[継続]を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙を確認してください。	指定したサイズの内紙をセットした後、[継続]を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、[継続]を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙がありません。	指定したサイズの内紙をセットした後、[継続]を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクを確認してください。	インクに異常があります。 インクを確認した後、[継続]を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクがありません。	インクを交換した後、[継続]を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： ファイルが異常です。	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル]を選び OK ボタンを押して、プリントを中止してください。	—

* プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けられます。

DSCN0001.JPG

識別子

(カメラの画面には表示されません)

編集していない静止画および動画	DSCN
スモールピクチャー画像	SSCN
トリミング画像	RSCN
スモールピクチャーとトリミング以外の画像編集で作成した画像	FSCN

拡張子

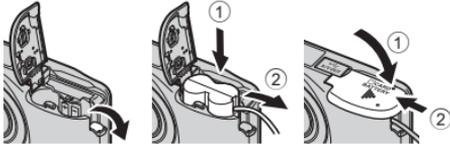
(ファイルの種類を示します)

静止画	.JPG
動画	.AVI

ファイル番号

(0001からの連番で付けられます)

別売アクセサリ

充電電池	<ul style="list-style-type: none">• Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2-B2 (2本入り) ※1• Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2-B4 (4本入り) ※1
充電器	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーチャージャー MH-72 (Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 × 2本付き) ※1、2• バッテリーチャージャー MH-73 (Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 × 4本付き) ※1、2
ACアダプター	ACアダプター EH-65A ※2 ＜EH-65Aの取り付け方＞  <p>電池/SDカードカバーを閉める前に、ACアダプターのコードを電池室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。</p>
USBケーブル	USBケーブル UC-E16
オーディオビデオケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14

※1 EN-MH2は、MH-72、MH-73以外の充電器では充電しないでください。MH-72、MH-73でEN-MH2以外の充電電池を充電しないでください。

※2 日本国内専用電源コード (AC 100 V対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

また、オンラインショップ (ニコンダイレクト) <http://shop.nikon-image.com/> でもお買い求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。

アクセサリの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。



付録、索引

取り扱い上のご注意	🔦:2
カメラについて.....	🔦:2
電池について.....	🔦:3
メモリーカードについて.....	🔦:5
お手入れ方法	🔦:6
クリーニングについて.....	🔦:6
保管について.....	🔦:7
故障かな?と思ったら	🔦:8
主な仕様	🔦:15
使用できるメモリーカード.....	🔦:18
索引	🔦:20
修理サービスのご案内	🔦:24
ニコンプラザについて	🔦:26

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~ix)をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレンズフィルターに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合)にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください
電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押ししたりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

● スミアについて

明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。撮像素子の特性上、強い光が入射すると発生する「スミア」という現象で、故障ではありません。また、スミアの影響で液晶モニターに色ムラが見えることもあります。

動画以外の撮影では、記録画像にスミアの影響はありません。

動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

電池について

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□ix～xiii)をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は使わないでください。
- 残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、電源のON/OFFを何度も繰り返さないでください。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難場合があります。

● 充電について

別売のリチャージャブルバッテリーをお使いの際は、撮影の前に充電してください。ご購入時にはフル充電されておりません。

バッテリーチャージャーに付属の説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- **リチャージابلバッテリーの充電について**
 - 型番の異なる電池、残量の異なる電池を混用しないでください。
 - このカメラにEN-MH2を使う場合は、バッテリーチャージャー MH-72で2本同時に充電してください。バッテリーチャージャー MH-73では、2本または4本同時に充電してください。MH-72、MH-73以外の充電器では充電しないでください。
 - MH-72、MH-73でEN-MH2以外の充電電池を充電しないでください。
- **Ni-MHリチャージابلバッテリー EN-MH1とバッテリーチャージャー MH-70/71をお使いの方へ**
 - このカメラはNi-MHリチャージابلバッテリー EN-MH1も使えます。
 - EN-MH1は、MH-70、MH-71以外の充電器では充電しないでください。
 - MH-70、MH-71でEN-MH1以外の充電電池を充電しないでください。
 - セットアップメニューの[電池設定] (□25、66) は[COOLPIX (Ni-MH)] に設定してください。
- **ニッケル水素充電電池について**
 - ニッケル水素充電電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果（電池容量が一時的に低下したような特性を示す現象）で、[電池残量がありません。]と早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
 - ニッケル水素充電電池の残量は、お使いにならないときでも自然放電で減っていきます。お使いになる直前に充電するようおすすめします。
- **低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する**

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。
- **電池の接点について**

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭い取ってください。
- **電池の残量について**

電池の特性上、残量のなくなった電池でもカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を表示することがありますので、ご注意ください。

● リサイクルについて

使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。



メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SDカード以外は使えません（※18）。
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- SDカードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- SDカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、「いいえ」を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、「はい」を選んでⓂ️ボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
 - 電池/SDカードカバーを開けて、カードや電池を脱着する
 - カメラの電源をOFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアーで吹き払ってください。ブローアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブローアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ゴミやホコリはブローアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいと感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none">画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直してください。 ACアダプター使用時は付け直してください。<ul style="list-style-type: none">記録中であったデータは保存されません。保存済みのデータは電池やACアダプターの取り外しでは失われません。	— 6、9、  72
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none">オートパワーオフ機能が動きました。低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	12  —
液晶モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none">電源が入っていません。電池残量がありません。節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、 ボタン、 ボタン、または  (●) (● 動画撮影) ボタンを押してください。フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。カメラとテレビがオーディオビデオケーブルで接続されています。	9 11 1、12 2、  13 27、30 27、  31

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターがよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [モニター設定] の [画面の明るさ] で、液晶モニターの明るさを調整してください。 液晶モニターが汚れています。 	25、🔧60 🔧6
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 日時を設定していない(撮影時に📷が点滅している)場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2016/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	9、25、🔧57
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] になっています。	25、🔧60
[日付写し込み] が選べない	セットアップメニュー [地域と日時] が設定されていません。	9、25、🔧57
[日付写し込み] を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> 日付を写し込めない撮影モードになっています。 動画には写し込みできません。 	🔧62
電源を入ると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	9、12
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	—
カメラから音がする	動画メニュー [AFモード] の [常時AF] 時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	25、🔧56

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	USBケーブルを外してください。	27、30、32
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているときは、 ボタン、またはシャッターボタンを押してください。 メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 電池残量がありません。 フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。 	1、17 2 11 2、13
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。おまかせシーンモード、シーンモードの [クローズアップ]、またはマクロモードでの撮影をお試しください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 電源を入れ直してください。 	20、21、3、5、15 21 9
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 ISO 感度を上げて撮影してください。 セットアップメニューの [手ブレ軽減] を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。 	20、11 47 25、63 20、14
液晶モニターに光の帯や色ムラが発生する	明るい被写体にレンズを向けるとスミアが発生することがあります。動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。	3

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを④（発光禁止）にしてください。	20、📷12
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが⑤（発光禁止）になっています。 フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 ベストフェイスメニューで [目つぶり軽減] が [する] になっています。 フラッシュが制限される他の機能が設定されています。 	20、 📷11、 📷12 📷17 25、📷49 📷19
電子ズームが使えない	<p>以下の場合、電子ズームは使えません。</p> <ul style="list-style-type: none"> シーンモードが [ポートレート]、[夜景ポートレート] または [ペット] のとき ベストフェイスモードのとき 	21、📷4 21、📷8
シャッター音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [操作音] の [シャッター音] が [なし] になっています。[あり] にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 スピーカーをふさがないでください。 	25、📷64 2
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	📷6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	25、📷5、 📷44
画像がざらつく	<p>被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 低いISO感度にご覧ください。 	 📷11 📷47

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが  (発光禁止) になっています。 フラッシュが指などでさえぎられています。 被写体にフラッシュの光が届いていません。 露出を補正してください。 ISO感度を上げてください。 逆光で撮影しています。シーンモードの [逆光] にするか、フラッシュモードを  (強制発光) にしてください。 	20、  11、  17 13  16 20、  16  47 20、21、  6、  11
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	20、  16
赤目以外の部分が補正された	 (赤目軽減自動発光) や、おまかせシーンモード、シーンモードの [夜景ポートレート] の赤目軽減スローシンク口強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。[夜景ポートレート] 以外のシーンモードかオート撮影モードで、フラッシュモードを  (赤目軽減自動発光) 以外にして撮影してください。	20、21、  5、  11
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニューの [美肌] をお試しください。 	 21 25、  28
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき フラッシュを  (赤目軽減自動発光) にして撮影したとき 美肌機能で撮影したとき 	- 20、  13  21

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 	—
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画やスモールピクチャー、320×240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 	—
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 内蔵メモリー /SD カードに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	🔍25 — — —
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像は、回転できません。	—
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [ビデオ出力] が正しく設定されていません。 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。 	25、🔍65 6
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2 が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラの電源が OFF になっています。 電池残量がありません。 USB ケーブルが正しく接続されていません。 パソコンにカメラが正しく認識されていません。 Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX-i のヘルプをご覧ください。 	9 11 27、30 — —

こんなときは	考えられる原因や対処法	
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。 	6 8
カメラ側で用紙設定ができない	<p>PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	27、  34、  35 -

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX A10

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1614万画素（画像処理で減少することがあります）
撮像素子	1/2.3型 原色CCD、総画素数1644万画素
レンズ	光学5倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.6-23.0 mm（35mm判換算26-130 mm相当の撮影画角）
開放F値	f/3.2-6.5
レンズ構成	5群6枚
電子ズーム倍率	最大4倍（35mm判換算で約 520 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正機能	電子式（動画）
ブレ軽減機能	手ブレ軽減（静止画）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">先端レンズ面中央から約 50 cm ～ ∞（広角側）、約 80 cm ～ ∞（望遠側）マクロモード時は先端レンズ面中央から約 10 cm（△マークから広角側）～ ∞
AFエリア	中央、顔認識
画像モニター	2.7型TFT液晶モニター、約 23万ドット、輝度調節機能付き（5段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー（約 17 MB）、SD/SDHC/SDXCメモリーカード（128 GB 以下）
対応規格	DCF、Exif 2.3準拠
ファイル形式	静止画：JPEG 動画：AVI（映像：Motion-JPEG 準拠、音声：PCMモノラル）

記録画素数 (画像モード)	<ul style="list-style-type: none">• 16M (高画質) [4608×3456★]• 16M [4608×3456]• 8M [3264×2448]• 4M [2272×1704]• 2M [1600×1200]• VGA [640×480]• 16:9 [4608×2592]
ISO感度 (標準出力感度)	ISO 80～1600
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光（電子ズームが2倍未満のとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
露出制御	プログラムオート、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッター スピード	<ul style="list-style-type: none">• 1/2000～1秒• 4秒（シーンモードの [打ち上げ花火]）
絞り	電磁駆動によるNDフィルター（-2.7 AV）選択方式
制御段数	2 (f/3.2、f/8 [広角側])
セルフタイマー	約 10秒
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定 オート時)	約 0.5～3.6 m (広角側) 約 0.8～1.7 m (望遠側)
調光方式	モニター発光による TTL自動調光
外部インターフェース	
USB端子	Hi-Speed USB <ul style="list-style-type: none">• ダイレクトプリント (PictBridge) 対応• オーディオビデオ出力端子兼用 (NTSC、PAL から選択可能)
表示言語	日本語、英語

電源	<ul style="list-style-type: none"> アルカリ単3形電池、リチウム単3形電池のいずれかを各2本 リチャージャブルバッテリー EN-MH2 (ニッケル水素充電電池) × 2本 (別売) ACアダプター EH-65A (別売)
電池寿命※1	
静止画撮影時	<ul style="list-style-type: none"> 約200コマ (アルカリ電池使用時) 約730コマ (リチウム電池使用時) 約500コマ (EN-MH2使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命)※2	<ul style="list-style-type: none"> 約1時間25分 (アルカリ電池使用時) 約4時間15分 (リチウム電池使用時) 約2時間40分 (EN-MH2使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約96.4×59.4×28.9 mm (突起部除く)
質量	約160 g (電池、SDメモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下 (結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による温度条件23℃ (±3℃) で、新品のアルカリ単3形電池使用時のものです。

※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。付属の電池はお試しの電池です。リチウム電池の数値は、市販の「エナジャイザー リチウム乾電池 (単3形)」使用時の値です。

※2 動画の連続撮影可能時間 (1回の撮影で記録可能な時間) は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

☑ 説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

使用できるメモリーカード

SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカード（128 GB以下）が使用できます。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。

商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- PictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2016 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

索引

マーク・英数字

T 望遠ズーム	15
W 広角ズーム	15
Q 拡大表示	17、23
サムネイル表示	17、24
おまかせシーンモード	21、3
シーンモード	21、4
SE スペシャルエフェクトモード	
.....	21、7
ベストフェイスモード	21、8
オート撮影モード	21、10
再生モード	17
セットアップメニュー	25、57
決定ボタン	2
撮影モードボタン	2
動画撮影ボタン	2
再生ボタン	2、17
削除ボタン	2、18
MENU メニューボタン	2、25
フラッシュモード	20、11
セルフタイマー	20、14
マクロモード	20、15
露出補正	20、16
ヘルプ 4
1 コマ表示	17
AC アダプター	72
AF エリア	14
AF 表示	4
AF モード	56
AV ケーブル	28、31、72

D- ライティング	27
EN-MH1	4
EN-MH2	72、4
ISO 感度設定	47
Nikon Transfer 2	32
PictBridge	28、32
SD カード	6、18
SD カードスロット	6
SD カードの初期化	7、65
USB/ オーディオビデオ出力端子	
.....	2、27、30、31、32
USB ケーブル	27、30、32、72
ViewNX-i	29

ア

赤目軽減自動発光	12、13
打ち上げ花火	4、6
笑顔自動シャッター	48
液晶モニター	2、3、6
オーディオビデオケーブル	
.....	28、31、72
オート撮影モード	21、10
オートパワーオフ	12、64
オートフォーカス	21、56
おまかせシーンモード	21、3
音声入力 / 映像入力端子	28、31
音量	39

カ

カードの初期化	7、65
顔認識撮影	20

拡大表示	17、		23	絞り値	15
拡張子			71	シャッター音	
画像回転			53	シャッタースピード	15
画像コピー			54	シャッターボタン	1、14
画像モード			42	充電器	
画面の明るさ			60	充電電池	
カレンダー表示			24	常時 AF	
逆光			4、	初期化	7、
強制発光			12	シングル AF	
記録可能コマ数	11、		43	ズーム	15
記録可能時間	23、		37	ズームレバー	1、15
クール CO			7	ストラップ	ii
クイックエフェクト			26	ストラップ取り付け部	1
クローズアップ			4、	スピーカー	2
言語 /Language			65	スペシャルエフェクトモード	21、
広角ズーム	15			スポーツ	
光学ズーム	15			スモールピクチャー	
硬調モノクローム			7	スライドショー	
				スローシンクロナイズ	

サ

再生	17、		39	接写	
再生ボタン	2、17			設定音	
再生メニュー	25、		50	設定クリア	
再生モード	17			セットアップメニュー	
削除	18			セルフタイマー	20、
撮影	13			セルフタイマーランプ	1、
撮影メニュー	25、		41、	セレクトカラー	
撮影モードボタン	2			操作音	
サマータイム	10、		59		
サムネイル表示	17、		24	夕	
三脚ネジ穴	2、		17	タイムゾーン	10、
シーンモード	21、		4	ダイレクトプリント	28、
時差			58	端子カバー	2
自動発光			12	単写	
				地域と日時	9、

手ブレ軽減	063
テレビ	28、063
電源	9
電源スイッチ / 電源ランプ	1、9
電子ズーム	15
電池	6、12
電池 / SD カードカバー	2、6
電池残量	11
電池設定	066
動画再生	23、063
動画撮影	23、063
動画撮影ボタン	2
動画設定	065
動画メニュー	25、065
トリミング	0623、0630
トワイライト	064

ナ

内蔵メモリー	8
内蔵メモリーの初期化	066
夏時間	10、065
日時の設定	9、065
ノスタルジックセピア SE	067

ハ

バージョン情報	067
パーティー	064、065
パソコン	28、30
発光禁止	0612
半押し	15
ビーチ	064
日付写し込み	066
日付の表示順	10、065
ビデオ出力	066

美肌	0628
美肌効果	0648
ピント	14、0620
ファイル名	0671
風景	064
フォーカスロック撮影	0622
フォーマット	0665
フラッシュ	1、0611
フラッシュモード	20、0611
フラッシュランプ	2、0613
プリセットマニュアル	0645
プリンター	28、0632
プリント	28、0633、0635
プロテクト設定	0651
ベストフェイスメニュー	0641、0648
ベストフェイスモード	21、068
別売アクセサリ	0672
ペット	064、066
ペット自動シャッター	066
ヘルプ	064
ポートレート	064
望遠ズーム	15
ポップ POP	067
ホワイトバランス	0644

マ

マイク	1
マクロモード	20、0615
マルチセレクター	2
ミラー	067
目つぶり軽減	0649
メモリーの初期化	0665
モニター設定	0660
モニター表示設定	0660

ヤ

夜景 	 04
夜景ポートレート 	 04、  05
夕焼け 	 04
雪 	 04
用紙設定	 34、  35

ラ

料理 	 04、  05
連写	 46
レンズ	1、  15
レンズバリアー	1
露出補正	20、  16

修理サービスのご案内

■修理のご依頼

ニコンサービス機関（修理センター、ニコンプラザサービスセンター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

※修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

■インターネットでのお申込み

<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター



修理センター ナビダイヤル

0570-02-8200

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

■ニコンピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。

<http://www.nikon-image.com/support/repair/receipt/pickup/>



ニコンピックアップサービス専用 フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）

0120-02-8155

営業時間：9：00～18：00（年末年始 12/29～1/4 を除く毎日）

※上記フリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。修理内容に関するお問い合わせは、修理センターへ、製品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターへお願いします。

補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品（機能維持に必要な部品）の保有期間内（製造打ち切り後5年を目安）を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合がありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っていきます。



ニコンプラザショールーム ナビダイヤル

0570-02-8080



ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル

0570-02-8060

音声ガイドンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについては、当社ホームページの下記URLをご覧ください。

<http://www.nikon-image.com/support/showroom/>



<http://www.nikon-image.com/support/contact/>



ニコンカスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、（03）5977-7499 にお送りください。

お問い合わせ時のお願い

- おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象（表示されたメッセージ）」、「発生頻度」などを確認のうえ、お問い合わせください。

<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧ください。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。



株式会社 **ニコン**
株式会社 **ニコン** イメージング ジャパン